

知見の統合による健康影響評価

粒子状物質の特性、曝露評価、生体内沈着・体内動態、毒性学研究の健康影響及び疫学研究の健康影響に関する知見を統合し、適切な粒子状物質の指標に関するカットポイントや微小粒子状物質の影響メカニズム、有害性同定に関する健康影響の評価を記述する。

最初に、粒子状物質の特性、曝露評価及び生体内沈着・体内挙動に関する結果を要約して粒子状物質の大気や体内中の挙動に関する整理を行う。これらの結果を踏まえ、粒径の適切なカットポイントを検証する。

次に、ヒトボランティア試験や動物実験による毒性学研究の知見を踏まえ、呼吸器、心血管器、免疫、発がん等に関する器官毎に微小粒子状物質やその成分の曝露による有害性に関する影響メカニズムを記述する。

最後に、呼吸器、心血管器、発がん等の器官毎に疫学的知見により観察された粒子状物質の曝露による影響に関して、毒性学研究の知見から得られた影響メカニズムを統合し、整合性及び生物学的妥当性（蓋然性）に関する評価を行うとともに、疫学研究の健康影響に関する知見の整理に基づく評価と統合して、有害性同定に関する評価を行う。